

平成26年度（平成27年度実施）個別施策評価シート

建設産業委員会

評価する個別施策	回遊性のあるまちづくり
----------	-------------

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76~100		30	産業観光振興計画の集客性・回遊性を高める周遊ルートの拠点整備（H24~H29）では、まずまずの進捗と言えるが、回遊性向上のためのルート整備としては、点から線、そして面への展開には至っていない。歴史・文化のストーリー性をもたせての情報発信や体験型・交流型の資源としてのソフト面の充実などが遅れている。
	どちらかといえば順調	51~75			
	どちらかといえば遅れている	26~50	○		
	遅れている	0~25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			無し	回遊性を高めるための調査研究する組織や担当機関、施策や事業が不足している。
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			無し	
	その他コメント			無し	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			無し	
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			無し	回遊性を高めるために、次のようなことを実現させるための責任機関をつくること。 <ul style="list-style-type: none"> 半田市の観光施設に、回遊性によって4時間は滞在できること。 回遊性のあるまちづくりのルートや将来ビジョンを明確化すること。 回遊性を高めるために、地元の地域資源・農畜産物・観光物産を、体験型・交流型(ニューツーリズム)の資源として活用することや、回遊ルートや観光拠点に歴史・文化のストーリー性を持たせての情報発信をすること。 発信力・影響力のあるテレビ番組、ドラマ、映画ロケなどの誘致活動をしての発信をすること。 SNSの利活用による情報発信をしていくこと。
	廃止すべき事業・内容はあるか			無し	
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			無し	<ul style="list-style-type: none"> 半田市・安城市交流促進事業の目的は、“市民の交流の促進を図る”ことであり、“回遊性のあるまちづくり”とは異なり観光目的ではないため、市民協働課など他課へ所管を変えてはどうか。 市民団体やNPOなど、心ある人材を積極的に活用してほしい。 半田商業高校・半田農業高校などの高校生の発想力も活かせるようにできないか。 ICTの活用も視野に入れてはどうか。
総合コメント	回遊性を高めるための責任機関を設置し、追加すべき事業に記載された内容をしっかりと行っていただき、PR不足の抜本的改革を行うことを強く望む。				